

# 3年1組 いきいきタイム学習活動案

場 所 3年1組教室  
児 童 男子15名 女子17名 計32名  
指導者 高橋 勝彦

## 1 単元名 「見たい 知りたい わたしたちの町」

### 2 単元の目標

- (1) 社会科で学習したことをもとに、矢巾町の農業について関心を持ち、進んで調べたり、体験したりしようとする。 (総合への関心・意欲・態度)
- (2) 矢巾町の農産物でできた献立を試食したり、社会科で学習した土地利用の様子を想起したりしながら、個人課題を設定することができる。 (課題設定の能力)
- (3) 課題を解決するために、友達と協力して取り組むことができる。 (協力、協調して活動する能力)
- (4) 追究活動計画に沿って、意欲的に調べ学習に取り組むことができる。 (問題解決の能力)
- (5) 調べたり、体験したりして分かったことを自分なりの方法でまとめ、発表することができる。 (学習活動にかかわる技能・表現力)
- (6) 自分たちの地域の農業の学習を通して、自分たちにできることは何かを考えることができる。 (自己の生き方を考える能力)

### 3 単元について

#### (1) 設定の理由

本単元は、3年生になってから2つ目の総合の単元である。前単元「見つけよう、歯のひみつ」では、自分の身体の一部である歯を取り上げ、総合の学び方を学んでいけるように身近な題材を設定し、課題作りの仕方、追究の仕方、まとめ方、これからの自分の生活にどう生かしていけるかという一連の学び方を習得するのに適した単元であった。次の本単元では、社会科の学習をベースにしながら、地域のよさや特徴をより深く追究するのにふさわしい単元であると考え、本単元を設定した。社会科の調査活動よりも範囲を広げたり、深く掘り下げたりすることもでき、より多角的に地域の特徴をとらえることを期待したい。また、前単元で学んだ学び方を生かして、自主的に課題解決をしていくこともできるであろうと考える。地域の農家の方に協力をお願いし

、農作業の様子を見学させていただいたり、インタビューさせていただいたりするなどの体験的活動をできる限り取り入れながら、子どもたちが意欲的に活動できる単元であると考え。

#### (2) 児童について

前単元「見つけよう、歯のひみつ」では、初めての総合学習ということで、染め出し体験から課題作りをして学習に取り組み始めた。自分の口の汚れ具合からブラッシングについてや虫歯の進み方、生えかわりについてなど様々な課題が子どもたちから出された。似たような課題を作った子ども同士で学習グループを作り、パソコンや保健ニュースなどの資料で調べ活動をした。子どもたちは、身近な歯という題材だけにとっても意欲的に調べていて、休み時間も資料探しに図書室に通う姿も見られた。自分たちで調べきれなかったことについては、歯医者さんにインタビューをすることにし、インタビューの仕方についても学習した。まとめる段階では、壁新聞や紙芝居、クイズにしてまとめるグループが多かった。発表する場面では自分たちで役割分担をしたり

、休み時間に発表の練習をしたりするなど、何とか自分たちが調べたことを友達に伝えたいという

姿勢が強く伝わってきた。発表を聞く側も、友達の発表をよく聞き、発表の仕方についての感想を述べる子どもが多かった。いかす段階でも、身近な歯だけに、調べたことをもとにして、自分の生活の中にどう役立てていけばよいか考えやすかったようだ。

本単元では、前単元で学んだ学び方に沿って、自分たちから意欲的に課題を作ったり、調べたり、まとめ・発表したりする活動に取り組んでほしい。また、見学に出かけて地域の方と触れ合う場面も想定しているので、インタビューの仕方やメモの取り方についても前単元で学んだことを生かして行うことができると期待している。

### (3) 指導にあたって

「つかむ」段階では、一つの食事の献立を試食する活動を通して、全部矢巾町で取れた農産物からできていることを知らせたい。その体験活動から自分はどんな農産物について調べていきたいか考えさせていきたい。できるだけ主要な農産物である米(うるち米、もち米)・野菜(きゅうり、トマト、ねぎ)・麦・りんご等にグループが分かれていくようにしていきたい。

「さぐる」段階では、グループごとに見学やインタビューができる地域の農家の方のご協力をいただきながら進めていきたい。社会のきのこの学習を思い出しながら、地域の農家の方にどんなことを質問するのか、どんな所を見学してくるのか、学級でしっかりと計画を立ててから外に出ていくようにする。また、分からないことについても、切り返して質問できるように指導していきたい。必要に応じてデジタルカメラなどを使って写真を撮ることも教えていきたい。

「まとめる」段階では、前単元で行った方法とは別の方法でまとめていくことを伝える。まとめる方法に広がりをもてるように、教師からもまとめる方法をいくつか提示する。1学期に見せていただいた4年生の総合の発表も思い出しながら、グラフや写真、調理したものなど具体的な物を使って発表できるように、声をかけていくようにしたい。発表を聞くときも、前単元では声の大きさや速さに関する感想発表が大半を占めていたので、友達の発表から何が新しい発見として分かったのかを言えるくらい、中身に重点を置いて聞くようにさせ、感想交流できるようにしたい。

「いかす」段階では、自分たちで実際に調理する活動を通して、地域で取れた農産物を味わいながら、地域の農家の方々の苦労や思いを振り返り、食べ物に大事な心や矢巾町の良さを考えさせていきたい。

これらの一連の活動をしながら、教師側でも評価表に基づいて子どもたちの良さを見取り、記録に残していくようにする。また、子どもたちにもその都度自己評価をさせて、自分たちの活動の成果を自覚させるようにしていきたい。

---

今までの学習をまとめ 自分たちにできることを考
----------------------------

4 単元の活動計画 20時間扱い 本時 20 / 20

段階	予想される児童の活動	時間	児童の活動を支援するための手だて	評価の観点と評価計画	活動形態
つかむ	1. 矢巾町産の農産物でできた食事を味わい、感想を交流する。 2. 副読本の矢巾町地図で取れる位置を確認し、課題を決める。 3. 課題を類型化し、学習グループをつくる。	1 1 1	・ 試食した後で感想を交流し、全て矢巾町で取れたものであることは最後に伝えるようにする。 ・ 学習の意欲付けをはかるために、1と2の活動を連続して行うようにする。 ・ 友達の課題を聞きながら課題の作り方を学ぶとともに、だれの課題と共通するのかを考えるようにする。	・ 自分で調べてみたい課題を考えたことができたか。 【ワークシート】 ・ 学習グループをうまくつくることができたか。 【自己評価カード】	・ 全体 ・ 個人 ・ 全体

さぐ	4. 課題の解決方法を考える。 5. グループごとに課題を追究する。	1 5	・ 学習グループで何を調べるのか、何を使って調べるのか計画を立て、見通しをもてるようにする。 ・ 出かける前にはインタビューや見学の仕方を事前指導する。	・ 課題解決の方法を見つけたり選んだりして計画を立てることができたか。 【ワークシート】 ・ 自分たちの考えた方法で追究することができたか。 【自己評価カード】	・ グループ ・ グループ
まとめ	6. 発表の準備をする。 ・ ポスター・かるた ・ 新聞・紙芝居・劇 ・ ペープサート ・ クイズなど 7. 発表会をする。	5 3	・ 前単元で行った方法とは違う方法にできるだけチャレンジしてほしいことを伝える。 ・ 役割分担をしながら、発表の練習をする機会も設ける。 ・ 話す側と聞く側にきちんと視点を与えるようにする。	・ 発表方法を選び、それに従って活動していたか。 【ワークシート】 ・ 自分たちの発表の仕方を振り返ることができたか。 【自己評価カード】 ・ 他のグループのよさを見つけることができたか。 【ワークシート】	・ グループ ・ 全体
いかす	8. 自分たちで調理する。 9. 今までの活動を振り返り、学習のまとめをする。	2 1	・ グループで追究した農産物を材料に簡単な調理をして、地域の味に触れさせる。 ・ 発表資料などを自由に見られるように掲示を工夫する。 ・ 自分で調べて分かったこと、友達の発表から分かったことなどを整理したり、学習の成果についても振り返るようにする。	・ 協力して調理することができたか。 【観察】 ・ 今までの活動を振り返り、地域の良さを感じることができたか。 【ワークシート】	・ グループ ・ 個人

5 本時の学習活動

(1) ねらい

- ・今までの活動を振り返り、学習のまとめをすることができる。
- ・学習のまとめをもとに、自分達にできることは何かを考えることができる。

(2) 展開

段落	学 習 活 動	時間	教師の支援(＊)と評価( )
つ か む  さ ぐ る  ま と め る  い か す	1. 前時の学習を振り返る。	5	* 地域の農産物を材料にして、グループごとに調理したことを想起させ、本時の活動につなげる。
	2. 本時のめあてを確認する。		
	3. 今までの学習で分かったことをまとめる。 調べて分かったことや友達の発表から分かったことをまとめる。 まとめたことを発表し合う。	15	* 発表資料を掲示するなど、今までの学習を振り返りやすくする。 * 農家の人達の願いや苦勞にも目を向けさせるようにする。  分かったことをしっかりまとめることができたか。
	4. まとめたことをもとに、自分たちにできることは何かを考える。 これからの生活で、気をつけていきたいことや、がんばっていきたいことを考える。 考えたことを発表し合う。		* 地域の農業と自分たちの生活とのつながりを意識させながら考えさせる。 * 机間巡視をして、個別にアドバイスをする。
	5. 今までの学習を振り返る。 学習してみて、よくできたこと、次がんばりたいことなどを考え、発表する。 教師からの講評を聞く。	15	自分たちにできることは何かを考えることができたか。 * 前単元の学習と比べて、よくなってきている部分を取り上げ、今後の学習への意欲をもたせる。
		10	